

関節リウマチ合併肺がんに対する 免疫チェックポイント阻害薬の効果および安全性の検討

研究の概要

1.研究の対象

2016年1月から2020年4月までに当院にて免疫チェックポイント阻害薬の治療を受けられた関節リウマチ合併肺がん患者症例

2.研究の目的・方法

本研究は、日常臨床で遭遇する関節リウマチの治療中に肺がんを合併する患者に対しての免疫チェックポイント阻害薬（特にPD-1/PD-L1阻害薬）の安全性や有効性については上記のように報告が少なく不明な点が多いことから実臨床における、関節リウマチ合併進行がん患者に対する免疫チェックポイント阻害薬(特にPD-1/PD-L1阻害薬)の安全性および効果に関して後方視的に検討することが日常臨床での治療方針決定のために有用であると考え本研究を計画しました。本研究代表者は大阪南医療センター呼吸器腫瘍内科 工藤慶太医長です。

3.研究に用いる情報の種類

情報：施設名、科名、登録番号、患者識別コード、病歴、治療歴、副作用情報、生存情報

4.外部への情報の提供測定

得られた臨床情報は、当院にて解析が行われます。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。本研究で得られたデータを二次利用することが有益であると研究代表者が判断した場合、個人情報を除いたデータを使用する可能性があります。

5.研究組織

国立病院機構 大阪南医療センター

研究代表者： 呼吸器腫瘍内科 工藤慶太

研究責任者： 呼吸器腫瘍内科 工藤慶太

分担研究者 1： 呼吸器腫瘍内科 中島 早希

分担研究者 2： 呼吸器腫瘍内科 宇都宮 琢秀

分担研究者 3： 呼吸器腫瘍内科 宇都宮 琢秀

分担研究者 4： 呼吸器腫瘍内科 吉野谷 清和

分担研究者 5： 呼吸器腫瘍内科 本多 英弘

分担研究者 6： リウマチ・膠原病・アレルギー内科 大島 至郎

分担研究者 7： 薬剤部 垣内 麻衣

分担研究者 8： 薬剤部 山口 真美